

## 令和5年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒個々の「生きる力」「進路を切り開く力」の伸長を図る地域と密接に連携した教育活動により、地域社会に貢献できる能力と豊かな人間性を持つ人材を育成し、地域に信頼される高校をめざす。

- 1 生徒が積極的に参加・活動する「わかる授業」を推進し、「スモールステップで学びを支援」し、「確かな学力」を育成する。
- 2 キャリア教育の充実に努めると共に、自立支援コース並びに専門コース等において特色ある教育活動を展開し、主体的に進路実現できる生徒を育成する。
- 3 教育活動全体を通じて、規範意識、人権意識の向上を図るとともに、地域との交流・連携を深め、安全・安心な学校としての信頼感を高めていく。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成と授業改善

- (1) 「わかる授業」をめざした学習者主体の授業を行い、自ら学ぶ生徒を育てる。
  - ア 生徒の授業参加と活動量を積極的に増加させたアクティブ・ラーニング(AL)や「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業実践を進め、生徒の基礎学力の向上をめざす。また、生徒の自ら学ぶ力を伸ばすための学習指導及び学習評価のあり方について実践研究を行い、指導と評価の一体化を進める。
  - イ ICT機器を活用して、授業のユニバーサルデザイン化(視覚化・構造化・協働化)を進め、教員の授業力の向上を図る。
  - ウ 教員相互の授業見学、他校や中学校の授業見学、授業アンケートを効果的に活用し、授業改善に取り組む。
  - エ 「阿武野プロジェクト(あぶプロ)～授業改善委員会(仮称)」を中心として、学習指導要領の趣旨を踏まえた組織的な授業改善を行い、生徒の学力の充実に努める。
  - オ 国際交流事業、英語検定等を活用し、国際理解教育を推進する。
  - ※ 授業アンケートにおける興味関心、知識技能に係る生徒の満足度(R2:88%、R3:87%、R4:88%)を上昇させ、令和7年度には90%以上にする。
  - ※ 教育産業における学力生活実態調査において、学習習慣上昇者の割合(R2:30%、R3:28%、R4:40.5%)を令和7年も40%を維持する。
  - ※ 「生徒1人1台端末の効果的な活用」(R2:-%、R3:-%、R4:90.7%)を増加させ、令和7年度には95%以上にする。【新規】
- (2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。
  - ア 学習環境整備、授業準備、授業規律の指導を徹底し、授業に集中できる環境を整える。

## 2 進路意識の高揚とコース制の充実

- (1) 進路指導部と学年が協力して、3学年間を見通した系統的なキャリア教育を実施し、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。
  - ア 総合的な探究の時間(ライフ・プランニング=LP)、LHR(ロングホームルーム)において、系統的・継続的なキャリア教育の充実に努める。
  - ※ 進路決定率(R2:96%、R3:97%、R4:98%)を上昇させる。
  - ※ 学校紹介就職内定率は100%(R2:100%、R3:100%、R4:100%)を維持する。
- (2) 「自立支援コース」「スポーツ専門コース」「福祉・保育専門コース」をはじめ、すべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。その際、島本高校との機能統合を意識して教育活動に取り組む。
  - ア コース毎に、生徒の実態や保護者のニーズに応じた教育内容の充実に努め、進路実現に導く。
  - イ コースの特色に応じて多様な教育活動を展開し、地域との交流・連携を深める。

## 3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成

- (1) すべての教育活動を通じて安全で安心な学校づくりを行い、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。
  - ア 規範意識の高揚、基本的な生活習慣の確立を図るため、登校時の校門指導を強化し、一貫した生徒指導を行う。
  - イ LP、LHRにおいて、集団づくり、アサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。
  - ウ インクルーシブ教育の理念に基づいた「ともに学び、ともに育つ」教育、並びに地域の学校、諸団体との交流・連携を推進し、社会貢献を体験することで、生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。
  - エ 防災教育、交通安全教育を計画的に継続して行う。
  - ※ 遅刻について、前年度比5%の減少を図る。
- (2) 生徒の自主的活動を支援し自尊感情を育成するとともに、自らを律し他人を思いやる心を育てる。その際には、生徒を「褒めて育てる」「スモールステップで育てる」を意識する。
  - ア 学校行事、生徒会活動の活性化を図る。
  - イ 部活動の活性化を図る。
  - ウ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援の充実に努める。
  - ※ 部活動加入率(R2:50%、R3:56%、R4:43.9%)を上昇させ、令和7年度には50%以上にする。

## 4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化させる学校力の向上

- (1) 広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化させる。
  - ア 中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施し、地域の信頼感を高める。
  - イ 学校教育活動全般について、適切な情報発信に努め、保護者、地域との信頼関係を高める。
- (2) 組織的、継続的に学校力の向上を図る。

## 5 校務の効率化と働き方改革

- (1) 生徒と向き合う時間を確保するため、ICTを活用して校務の効率化を図る。
  - ア グループウェア、学習支援クラウドビス等を活用することで、校内の連絡、周知事項の徹底、意見交換を促進し、業務時間の縮減を図る。
  - イ 削減可能な業務を洗い出して可能なものから実行するとともに、校内組織の見直しを進めていく。
- (2) 働き方改革の取組を進め、教職員のワーク・ライフバランスの充実に努める。
  - ア 時間外在校時間の縮減、年休取得の推進など、長時間勤務が解消できるよう努める。
  - イ 生徒のみならず、教職員にとっても安全・安心な学校となるよう努める。
  - ※ 教職員間の相互理解、信頼関係(R2:86.5%、R3:94.7%、R4:97.3%)を令和7年度も95%以上を維持する。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 5年 12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【1 確かな学力の育成と授業改善】</b></p> <p>《生徒回答項目》(項目/肯定的回答/昨年度比、以下同じ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*授業への積極的参加/86.0%/+0.4p</li> <li>*興味関心をもって学習でき授業に満足している/74.0%/-3.3p</li> <li>*学習内容を理解することができている/78.6%/+1.5p</li> <li>*家庭での予習復習/22.9%/-0.8p</li> <li>*私語が少なくしっかり授業を聞く雰囲気/71.3%/-4.2p</li> <li>*清掃をおこない授業を気持ちよく受けられる環境整備/79.3%/-1.0p</li> <li>*授業開始時に必要なものを準備、課題の提出/89.2%/+0.1p</li> </ul> <p>《教員回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*学習指導や評価についての話し合い/93.6%/+7.2p</li> <li>*教材の精選と工夫/100%/+0.0p</li> <li>*参加体験型やグループ学習など学習形態の工夫/91.5%/-8.5p</li> <li>*ICT機器の活用/97.9%/+0.7p</li> <li>*授業規律の確立/61.7%/-16.7p</li> </ul> <p>《保護者回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもは授業が分かりやすいと言っている/65.3%/-0.5p</li> </ul> <p>・生徒の「興味・関心」が74.0%(-3.3p)、「しっかり授業を聞く雰囲気」が71.3%(-4.2p)となっている。教員も「学習形態の工夫」91.5%(-8.5p)、「授業規律の確立」61.7%(-16.7p)を課題と認識している。全教科で生徒の変化や実態に応じた授業改善(特に授業規律と学習指導の工夫・改善)を進めることが急務である。</p> <p><b>【2 進路意識の高揚とコース制の充実】</b></p> <p>《生徒回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*進路学習の機会がある/94.1%/+1.0p</li> <li>*地域や外部講師から学ぶ機会/87.1%/-2.2p</li> <li>*専門コース授業の満足度(スポーツ)/85.5%/+2.8p</li> <li>*専門コース授業の満足度(福祉保育)/87.5%/+0.0p</li> </ul> <p>《教員回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*系統的なキャリア教育がなされている/89.3%/+2.8p</li> <li>*進路選択についてのきめ細やかな指導/93.7%/+1.8p</li> <li>*地域連携の機会/93.6%/+4.4p</li> </ul> <p>《保護者回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*進路学習についての丁寧な指導/76.9%/-4.2p</li> </ul> <p>・系統的なキャリア教育の推進のため、「職業体験セミナー」「素敵な大人インタビュー」「社会貢献活動「あぶねっと」」「進路別対策講座(ガイダンス)」などきめ細やかな進路相談等を行い、生徒の「進路学習の機会がある」は94.1%(+1.0p)と微増。しかし、保護者の「進路学習についての丁寧な指導」は、76.9%(-4.2p)となった。保護者への進路情報の提供や学校で行っている進路学習の情報発信が課題である。</p> <p><b>【3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成】</b></p> <p>《生徒回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*学校へ行くのが楽しい/80.0%/+0.5p</li> <li>*保健室や相談室で相談することができる/68.9%/+0.8p</li> <li>*人権の大切さを学ぶ機会/94.5%/+1.7p</li> <li>*障がい理解が深まる/91.8%/-0.5p</li> <li>*いじめへの対応/84.6%/+0.3p</li> <li>*生徒指導への納得/63.4%/-0.4p</li> <li>*防災や交通安全指導の機会/91.3%/+2.1p</li> <li>*学校行事満足度/85.8%/+0.8p</li> <li>*委員会活動やクラス活動に積極的に参加/65.5%/+4.0p</li> </ul> <p>《教員回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導/94.6%/+2.5p</li> <li>*教育相談の体制/91.5%/-3.1p</li> <li>*人権研修の機会/95.8%/-1.5p</li> <li>*人権学習の取り組み/100%/+5.3p</li> <li>*いじめへの対応と体制/95.7%/-4.3p</li> <li>*生徒指導体制/97.9%/-2.1p</li> <li>*学校行事の工夫・改善/91.5%/-5.8p</li> <li>*体育大会や文化祭のルールや役割分担/76.6%/-9.8p</li> </ul> <p>《保護者回答項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもは学校に行くのを楽しみにしている/74.1%/-3.0p</li> <li>*子どもは自分のクラスが楽しいと感じている/75.0%/+1.7p</li> </ul>	<p><b>【第1回 令和5年6月7日(水)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な行事の実施にあたり、これからも阿武野高校の協力をお願いしたい。</li> <li>・スクール・ミッションについては、進路決定の際に役立つ内容であってほしい。</li> <li>・オープンスクールの回数は多いに越したことはない。中学ではオープンスクールに参加するよう指導している。中学校の教員は、どんな学校か知りたいと思っている。生徒にはオープンスクールでの内容を書かせ、教員も確認している。また、卒業生から話を聞いたりもしている。</li> <li>・発達障がい等、様々な障がいを抱えたお子様をお持ちの方で、子どもの将来をとっても不安に思っておられる方がたくさんいらっしゃると思う。懇談等で来校した際には、生徒たちが気持ちよく挨拶をしてくれて、とても温かい学校であると感じている。そういった阿武野高校の良さをもっと全面に出していくべき。</li> <li>・障がいがあるなしにかかわらず、将来に不安をかかえている生徒が多くいる。そんな子どもたちに響くような、特徴のある内容をもっとPRしてほしい。</li> </ul> <p><b>【第2回 令和5年10月31日(火)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフバランスについて先生方が自主的に建設的な会議をおこなっているのがとてもよい。</li> <li>・保護者として、欠席システムで便利になった反面、以前は電話したときにお伝えしたいことや悩みを相談できていたが、今後はそれがしにくくなるのか心配である。直接伝えたいことは電話でお話させていただく。</li> <li>・広範囲にわたって地域との交流があり、とてもよい。学生の自主性が育ち、大きな力生きる力になっている。生徒の自主的な活動が企業の求める自主性や主体性につながっている。他校にも参考にしてもらいたい。</li> <li>・ボランティア部は、生徒が主体となり、地域の方にどのようにしたら喜んでもらえるかを考えて活動している。</li> <li>・授業アンケートは中学校でも定期的実施しているが、分析が大事だと考えている。令和6年から変更となる高等学校の学習指導要領では3観点での評価となる。アンケート結果を見ると、「主体的に学習に取り組む態度」の項目の値が他の項目と比較する低い。ここをいかに上げていくのかを各教科で先生方にも工夫していただきたい。</li> </ul> <p><b>【第3回 令和6年1月29日(月)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の結果、教育活動に弊害がでてはいけないと思うが、本校はどうか。</li> <li>・Web入力による遅刻連絡になると、生徒の遅刻のハードルが下がってしまう側面があるようだ。保護者に電話をしてもらわなくても連絡できてしまい、どうしても保護者が知らなかったという場合が出てくる。</li> <li>・オープンスクールに参加したところ、生徒主体のオープンスクールであったと感じた。生徒が話している様子が大変印象的で、中学生も阿武野高校に入ってから、どんな風になるかイメージが持ちやすいのではないかなと思う。他校では先生が話して終わりもよく見かける。あれは生徒だけでやっているのか。</li> <li>・もちろん教員が助けているところはある。しかし、生徒が何を話そうか考えて、シナリオなどに手を加えている。</li> <li>・学校のホームページを見たところ、リニューアルされていて学校の明るい様子がよく伝わってくる。スポーツ専門コースと福祉コースならではの授業風景や、チャリティコンサートの様子がわかる動画などは、載せることができるか。著作権のこともあるので、なかなか難しいと思うが。</li> <li>・著作権や肖像権など難しい点はあるが、検討したい。</li> </ul>

- \*子どものことをよく理解してくれている／72.9％／－1.2p
- \*保護者の相談への対応／83.6％／－1.9p
- \*人権を尊重する教育への取り組み／86.8％／+0.6p
- \*いじめへの対応／72.6％／－2.9p
- \*生徒指導方針に共感する／74.0％／－2.0p
- \*子どもの文化祭や体育大会でのいきいきとした活動／86.6.8％／+2.8p
- ・生徒の回答では、「教育相談」「いじめへの対応」は昨年と同程度を維持。一方、教育の「いじめへの対応と体制」95.7％（－4.3p）と保護者「いじめへの対応」72.6％（－2.9p）は下降した。
- ・学校の指導方針についての丁寧な説明とともに、学校と家庭が協力して子どもの成長支援という視点で保護者と連携していく。
- ・引き続き担任や学年の教員が日常的に生徒のカウンセリングマインドをもって相談を受ける体制を維持するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとともに教育相談活動の充実を図る。今年からスマイル（教育相談室）の環境を整備し、定期的に開放する試みをスタートした。今後も教育相談活動を充実し、多様な生徒が安全に安心して過ごすことができる居場所づくり、学校づくりに努める。
- ・「生活習慣の指導」は85.1％（－0.2p）、「先生の指導への納得度」は63.8％（－0.4p）となった。各ルールの意義を生徒に説明し丁寧な指導に努めるとともに、「先生の指導への納得度」を高めていく。

#### 【4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化する学校力の向上】

##### 《教員回答項目》

- \*必要な情報を生徒・保護者・地域へ周知／93.6％／－6.4p
- \*経験の少ない教員へのフォロー体制／76.6％／－9.9p
- \*教育活動について日常的に話し合っている／97.9％／+3.3p

##### 《保護者回答項目》

- \*学校からの情報提供・意思疎通／85.4％／－3.8p
- ・教員の「生徒・保護者・地域への情報提供」、保護者の「学校からの情報提供・意思疎通」のポイントが下がった。
- ・12月にホームページの刷新を行った。引き続き教育の可視化、広報活動の推進、保護者や地域との連携推進を行い、教育活動の活性化を行っていく。
- ・教員の「経験年数の少ない教員へのフォロー体制」は－9.9pと下がった。今年度初任者はいなかったが、経験年数の少ない教員の割合は高い。「授業規律」「学習形態」など1【確かな学力の育成と授業改善】で浮かび上がった項目を中心に、教員の課題意識やニーズに応じた研修をあぶプロを中心に計画的に実施していく。

#### 【5 校務の効率化と働き方改革】

##### 《教員回答項目》

- \*経験の少ない教員へのフォロー体制／76.6％／－9.9p（再掲）
- \*教育活動について日常的に話し合っている／97.9％／+3.3p（再掲）
- ・教員の「経験年数の少ない教員へのフォロー体制」は－9.9pと下がった。今年度初任者はいなかったが、経験年数の少ない教員の割合は高い。「授業規律」「学習形態」など1【確かな学力の育成と授業改善】で浮かび上がった項目を中心に、教員の課題意識やニーズに応じた研修をあぶプロを中心に計画的に実施していく。（再掲）
- ・WEB上での欠席遅刻連絡受付を開始、デジタル採点システムの活用が広がり、業務の効率化が進んだ。
- ・業務分担の適正化と教員間でフランクに話ができる場の設定が今後の課題である。

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 「わかる授業」をめざした授業改善</p> <p>ア 指導と評価の一体化によるカリキュラムと授業改善の推進</p> <p>イ ICT 機器を活用した授業のユニバーサルデザイン化</p> <p>ウ 教員相互の授業見学等の活性化</p> <p>エ 校内研修の充実</p> <p>オ 国際交流等による異文化理解、英語力の向上</p> <p>(2) 学習環境の整備と授業規律の確立</p> <p>ア 授業に集中できる環境の整備</p>	<p>(1) アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習状況に応じた授業の見直しを行い、各教科の取組(学習指導、学習評価)の工夫を教員全体で共有する。</li> <li>アクティブ・ラーニング(AL)、ICTを活用した授業づくりを推進し、生徒の主体的・協働的な授業参加を促すとともに、思考力・判断力・表現力や自ら学ぶ力の育成に継続して取り組む。</li> <li>課題・宿題による家庭学習の習慣づけと確認を行い、授業進行に活用する。</li> </ul> <p>ウ 教員相互の授業見学の活性化とともに、授業アンケート結果を活用し、授業改善に取り組む。</p> <p>エ・授業改善委員会(仮称)を中心として、教材開発、研究授業、研究協議、ICT活用及びAL推進のための校内研修を実施するとともに、生徒の学ぶ力伸ばす学習指導と学習評価の工夫・改善の取組を進める。</p> <p>オ・国際交流事業や英検受験等を通じて、英語力と多様性尊重の態度を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援クラウドサービスを活用し、家庭学習の習慣化と英語力の向上に取り組む。</li> </ul> <p>(2)</p> <p>ア・学習環境整備、授業準備、授業規律の指導を各学年団で徹底し、授業に集中できる環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当分掌を中心に全教職員で校内美化を推進。</li> </ul>	<p>(1) アイウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度を前年度[88%]より向上させる。</li> <li>教育産業における学力生活実態調査において、学習習慣上昇者の割合を前年度[40.5%]を維持する。</li> <li>学校教育自己診断[生徒]「生徒1人1台端末の効果的な活用」を前年度[90.7%]より向上させる。</li> </ul> <p>エ・校内研修を3回以上実施</p> <p>オ・オンライン国際交流を2回以上実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対面国際交流事業の活性化。</li> </ul> <p>(2)</p> <p>ア・学校教育自己診断[生徒]における「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定的評価を前年度[75.5%]より向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価を前年度[80.3%]より向上させる。</li> </ul>	<p>(1) アイウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケート「授業内容の興味・関心」は、83.8%、「知識・技能の定着」は85.7%。(△)</li> <li>教育産業における学力生活実態調査において、学習習慣上昇者の割合は、35.8%。(△)</li> <li>学校教育自己診断[生徒]「生徒1人1台端末の効果的な活用」は、93.1%。(○)</li> <li>教科担当者が工夫をして生徒に分かりやすい授業を心がけている。タブレットを活用して、生徒個人の進捗に合わせた課題の配付やクラウド環境を活かした協働作業(スライド作成や意見交換等)、自分の考えをまとめる学習活動が進んでいる。</li> <li>上記授業アンケートや学校教育自己診断の授業に関する項目を分析し、全教科で生徒の変化や実態に応じた授業改善(特に授業規律と学習指導の工夫・改善)を進めることが急務である。</li> </ul> <p>エ 授業研究委員会を中心に、各学期に1回の公開研究授業と協議を実施。授業規律や生徒の興味・関心をひく授業方法について情報共有と協議をし、改善点を探った。また、教務部が中心となって研修を2回実施し、デジタル採点を推進に取り組んだ。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度は学習支援サービスの活用を全学年で導入する。基礎学力の向上や学習習慣の向上に資する効果的な活用をめざして取り組んでいく。</li> </ul> <p>オ オンライン国際交流は、台湾の高等学校と6回実施。3月末に4年ぶりに米国・ワシントン州の姉妹校(ケントレイク高校)との国際交流を実施予定。4名の生徒が参加。(○)</p> <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定的評価は、71.3%。(△)</li> <li>「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価は、79.3%。(△)</li> <li>学校全体で授業規律や清掃指導を徹底し、学習に集中できる環境を維持していく。</li> </ul> <p>【第1学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律がしっかり守れるように、学年団で見回り、個別指導を通して生徒に理解を促してきた。さらに授業規律の共有と徹底が教科担当間でできるようになることが課題である。</li> </ul> <p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの生徒が、私語なく授業に集中できている。私語が少し気になる生徒がいた場合は、担任が個別に指導を行っている。</li> </ul> <p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年になり授業中の私語で教科担当者が注意することが増えた。学年での注意・指導を実施した。</li> </ul>
2 進路意識の高揚とコース制の充実	<p>(1) 主体的に進路を選択し実現できる生徒の育成</p> <p>ア 系統的・継続的なキャリア教育の推進</p>	<p>(1)</p> <p>ア・ライフプランニング(LP)、LHRが3年間を見通した系統的・継続的なキャリア教育として充実するよう、進路指導部・各学年・人権教育担当分掌で協議・検討し、より良いキャリア教育プログラムとする。(3年間の学び”みえるプラン”の見直し。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部・教務部・各学年団が協力して、補習・講習等を実施し、生徒の主体的な進路選択を支援する。</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>ア・学校教育自己診断[生徒]における「進路や職業について学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度[93.1%]より向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年生の進路目標確定95%以上。</li> </ul>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路や職業について学ぶ機会がある」の肯定的評価は94.1%。(○)</li> <li>2年生の進路目標確定は99% (○)</li> </ul>

府立阿武野高等学校

	<p>(2) 自立支援コース、専門コース、選択科目等の教育内容の充実</p>	<p>・</p> <p>(2) ア・専門コースや選択科目が生徒の進路に結びつくよう、教育内容の充実を図る。その際には島本高校との機能統合を意識する。</p> <p>イ・地域諸団体との交流・連携を推進し、進路意識の高揚を図る。</p>	<p>・卒業時進路決定率を前年度[98%]をより向上させる。</p> <p>・学校紹介就職内定率100%。</p> <p>・進路指導部3年アンケートの「進路満足度」の肯定的評価の割合100%をめざす。</p> <p>(2) ア・同「専門コースの授業に満足」の肯定的評価を前年度[85.1%]より向上させる。</p> <p>イ・同「地域の方から学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度[89.3%]より向上させる。</p>	<p>・卒業時進路決定率は99% (○)</p> <p>・学校紹介内定率は100% (○)</p> <p>・進路指導部アンケートの「進路満足度」の肯定的評価は97%。(△)</p> <p>【第1学年】</p> <p>・「素敵な大人インタビュー」を実施。進路選択に向けた意識が向上し、視野が広がった。</p> <p>【第2学年】</p> <p>・ライフプランニング(LP)の授業は、社会貢献活動「あぶねっと」と進路学習を中心にバランスよく展開できた。進路学習については、3年次や卒業後のことも見据えながら、計画的に進められている。</p> <p>【第3学年】</p> <p>・夏季休業中、学年独自の補習・講習を実施。各担任で三者面談を実施。進路情報業者による進路ガイダンスや進学情報の請求、アンケートを実施し、進路意識の向上につながった。</p> <p>(2) アイ</p> <p>・「専門コースの授業に満足」の肯定的評価は、86.5%。(○)</p> <p>・「地域の方から学ぶ機会がある」の肯定的評価は87.1%。(△)</p> <p>・スポーツコースは、体育祭で集団行動の披露、スキー・スノーボード講習やゴルフ実習の実施、高槻シティハーフマラソンに参加・大会運営に参画。</p> <p>・福祉・保育コースにおいて、今年度は地域諸団体との外部実習や当事者の方による講演会を充実させることができた。夏期休業中に5カ所の施設・事業所等で学校設定科目「福祉実習」を実施。18名の生徒が単位を取得し、進路選択の幅を広げた。</p> <p>・両コースともに、今後も地域諸団体や外部機関と連携して、より生徒の実態に応じたキャリア教育プログラムとなるよう工夫・改善していく。</p>
<p>3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成</p>	<p>(1) カウンセリングマインドをもった生徒指導と人権教育の推進 ア 規範意識の高揚と基本的な生活習慣の確立</p> <p>イ 当事者や生徒どうしの対話を重視した学習</p> <p>ウ 社会貢献活動と地域交流の推進</p>	<p>(1) ア・全教職員が協力して登校時校門指導を行い、遅刻、頭髪、制服の指導を強化するとともに、挨拶ができる生徒を育てる。</p> <p>・生徒一人ひとりが「阿武野高生の代表」という自覚を持ち、責任ある行動、言葉遣いができるよう一貫した生徒指導を行う。</p> <p>・カウンセリングマインドを持った生徒指導を推進する。</p> <p>イ・1年次に地域交流による「障がい理解学習」を行う等、LP、LHRでアサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。</p> <p>ウ・2年次に社会貢献活動「あぶねっと」を行う等地域交流を推進し、学校教育全般を通じて生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。</p>	<p>(1) ア・年間延べ遅刻数3,300人以下。[3,478人]</p> <p>・学校教育自己診断[教職員]「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価を前年度[94.6%]より向上させる。</p> <p>イウ</p> <p>・同[生徒]「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度[92.8%]より向上させる。</p> <p>・同「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価を前年度[79.5%]より向上させる。</p>	<p>(1) ア</p> <p>・年間延べ遅刻数は、3,263件。(○)</p> <p>・「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価は91.5%。(△)</p> <p>・校内のデジタルサイネージにて、遅刻防止や交通安全に関することなどの啓発活動を行った。</p> <p>イウ</p> <p>・「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価は94.5%。(○)</p> <p>・「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価は75.0%。(△)</p> <p>・人権学習の時間は質量ともに充実してきているが、コロナ禍にあつて生徒たちが相互交流を深める機会や経験が極端に減少し不足していることから、次年度も引き続き集団づくりや人間関係づくりを意識した取組み、居場所としての学校づくりという観点で学習内容や学習活動を強化・工夫することが必要である。</p> <p>【1年次】</p> <p>・障がい理解学習を11月に、部落差別問題の講演会を12月に実施し、当事者の方から直接話を聞くことで、生徒たちの人権意識を向上につながる機会となった。</p> <p>【2年次】</p> <p>・あぶねっとは、事前学習から計画的に実施することで、しっかりと準備ができた状態で活動に入れた。活動当日は、生徒一人ひとりが意欲的に参加し、地域の活動について学ぶ良い機会となった。</p>

府立阿武野高等学校

	<p>エ 防災教育、交通安全教育の推進</p> <p>(2) 生徒の自主的活動の充実</p>	<p>エ・防災教育、交通安全教育を計画的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車運転ルールの順守、マナーの向上について、交通安全テスト等を活用し、定期的な注意喚起を行う。</li> </ul> <p>(2)</p> <p>ア・学校行事、生徒会活動の活性化を図る。</p> <p>イ・部活動の活性化を図る。</p> <p>ウ・各学年、相談室委員会、配慮特別委員会が情報を共有し、SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)、関係機関との連携を推進して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談、キャリア教育、支援教育それぞれの分野の垣根を越えた包括的な支援体制づくりをめざして、保健室、スマイル、図書室などで多様な生徒の居場所を確保し、多面的な生徒支援を行う。</li> </ul>	<p>エ・防災教育、交通安全教育の各学期実施。交通安全テストの全員合格。</p> <p>(2)</p> <p>ア・同「学校行事満足度」の肯定的評価を前年度[83.6%]より向上させる。</p> <p>イ・部活動加入率を前年度[43.9%]より向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会や部活動による地域交流回数 24 回以上を維持する。前年度[56 回]。</li> </ul> <p>ウ・「個別の教育支援計画」の作成と適切な支援。</p>	<p>エ防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 学期には火災を想定した避難訓練、2 学期には大阪 880 万人訓練、3 学期には防災HRを実施。</li> <li>・交通安全テストは、全学年で全員合格。(○)</li> </ul> <p>(2) アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校行事満足度」の肯定的評価は 85.8%。(○)</li> <li>・部活動加入率は 49.5%。(○)</li> <li>・地域の依頼を受け、生徒やクラブ員が複数のお祭りやイベントに出演者として参加したり、運営に携わったりして活躍した。地域交流は、60 回実施。(○)</li> </ul> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画は必要な生徒にすべて作成。</li> <li>・教育相談委員会を週 1 回開催し、気になる生徒情報の共有や SC/SSW との連携を行った。教育相談室(すまいる)の環境を整備し、定例の開放日を設け、教育相談活動を強化することができた。(○)</li> </ul>
<p>4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化させる学校力の向上</p>	<p>(1) 広報活動の強化</p> <p>(2) 組織的、継続的な学校力の向上</p>	<p>(1)</p> <p>ア・中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施する。</p> <p>イ・学校ホームページ、学校紹介スライドを見直すとともに、校内のデジタルサイネージを推進し、生徒の高校生活や授業の様子など教育活動の効果的な情報発信に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文書、保護者メール、ホームページ等を使って保護者との連絡をより密接に行い、学校との信頼関係を向上させる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な OJT の推進に努め、経験年数の少ない教職員の育成体制の充実を図る。</li> <li>・府教育センターや各研究団体等の研修を活用し、伝達研修の充実を図る。</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>ア・学校説明会等の計画的、組織的实施 6 回以上。</p> <p>イ・学校教育自己診断[保護者]「教育情報提供満足度」の肯定的評価を前年度[77.9%]より向上させる。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達研修を含む職員研修の実施 12 回以上。</li> <li>・同[教職員]「経験年数の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価を前年度[86.5%]より向上させる。</li> </ul>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスクール、クラブ体験会等の実施 10 回。</li> <li>・自立支援コース説明会 2 回、個別見学会 18 回。</li> <li>・7 月(33 校)、12 月(27 校)に中学校訪問を実施。特に、教育相談体制の充実と専門コースについて PR を行った。(○)</li> <li>・第 1 回オープンスクールに向けて部活動加入生徒による母校訪問を行い、学校の魅力を PR した。</li> <li>・オープンスクールは生徒会やクラブ員等に協力を依頼し、生徒が中心となって実施する形態とした。次年度は PTA にも参加していただき、保護者の視点からもアプローチしていただく。</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育情報提供満足度」の肯定的評価は、76.1%。(△)</li> <li>・12 月に、学校ホームページを中学生向けの発信を意識した内容構成にリニューアルした。</li> <li>・在校生の保護者向けに、各学年が毎月 1 回程度、メールマガジンを配信。また、「すまいる通信」や「学年通信」等を配付し、情報発信を行った。</li> <li>・中学校やその保護者に対して、本校の教育内容ときめ細やかな指導の様子等を周知・PR する効果的な発信方法について検討が必要である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝達研修を含む職員研修の実施 12 回。(○)</li> <li>・人権研修においては、「人推委だより」を隔月で発行し、校外研修の伝達やふりかえりなどを行い、教職員へ継続的にフィードバックした。</li> <li>・同[教職員]「経験年数の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価は、76.6%。(△)</li> <li>・今年度初任者はいなかったが、経験年数の少ない教員の割合は高い。「授業規律」「学習形態」など 1【確かな学力の育成と授業改善】で浮かび上がった項目を中心に、教員の課題意識やニーズに応じた研修をあぶプロを中心に計画的に実施していく。</li> </ul>

## 府立阿武野高等学校

<p>5 教職員の働き方改革の推進とワーク・ライフバランスの充実</p>	<p>(1) ICTによる校務の効率化</p> <p>(2) 働き方改革の推進、教職員のワーク・ライフバランスの充実</p>	<p>(1) ア ・グループウェアや学習支援クラウドサービスを活用することで、家庭との連絡、校内の連絡、周知事項の徹底、教職員間の意見交換等を促進し、業務時間の縮減を図る。 イ ・削減可能な業務の洗い出しを行い、可能なものから実行するとともに、校内組織の見直しを進めていく。</p> <p>(2) ア ・時間外在校時間の縮減、年休取得の推進など、長時間勤務が解消できるよう努める。 イ ・生徒のみならず、教職員にとっても安全・安心な学校となるよう努める。 ・OJTの充実やICTの導入によって業務の効率化を進め、ストレスチェック制度の有効活用もを行い、教職員の負担感軽減を図る。</p>	<p>(1) アイ ・(あぶプロ)働きやすい学校を考える会を1回以上実施する。</p> <p>(2) アイ ・学校教育自己診断〔教職員〕「教職員の相互理解、信頼関係」を昨年度〔97.3%〕より向上させる。 ・ストレスチェック結果の総合健康リスクが事業場全体より下位を維持する。</p> <p>(1) ・7月に「働きやすい学校を考える会」を実施。昨年からの変更点について検証を行い、さらに見直し可能な業務の洗い出しをした。そこで検討した結果、10月中旬よりWEB上での欠席遅刻連絡受付を開始し、朝の電話対応の負担が軽減した。 ・デジタル採点システムの仕様説明や活用に関する校内研修を充実した結果、活用が広がり、業務の効率化が大きく進んだ。(○) ・業務分担の適正化と教員間でフランクに話ができる場の設定が今後の課題である。</p> <p>(2) ・「教職員の相互理解、信頼関係」の肯定的評価は、100%。(○) ・ストレスチェック結果の総合健康リスクは97。昨年同様、事業場全体(100)より下位だった。(○) ・業務分担が適切に行われるように、チームごとの個人業務の可視化が必要である。 ・今年度初任者はいなかったが、経験年数の少ない教員の割合は高い。「授業規律」「学習形態」など1【確かな学力の育成と授業改善】で浮かび上がった項目を中心に、教員の課題意識やニーズに応じた研修を、あぶプロを中心に計画的に実施していく。(再掲)</p>
--	--	---	---